取扱説明書

FlexScan®
T966

カラーディスプレイ

重要
ご使用前には必ず取扱説明書をよくお読みになり、
正しくお使いください。
この取扱説明書は大切に保管してください。

絵表示について

本書では以下のような絵表示を使用しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性がある内容、および物的損害のみ発生する可能性がある内容を示しています。

△	注意（警告を含む）を促すものです。たとえば △ は「感電注意」を示しています。
⃠	禁止の行為を示すものです。たとえば ⃠ は「分解禁止」を示しています。
●	行為を強制したり指示するものです。たとえば ● は「アース線を接続すること」を示しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会(旧日本電子工業振興協会)の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

本装置は、社団法人 電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの漏洩電流に関するガイドライン(PC-11-1988)に適合しております。

本装置は、平成 6 年 10 月 3 日付け経済産業省エネルギー庁公益事業部長通達、6 資公部 第 378 号、家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

本製品はエコマーク認定基準に定められた「機器のリサイクルに適した設計」に基づいて設計されています。

もくじ

⚠使用上の注意 4

第１章　はじめに 8
1-1. 特長 8
1-2. 梱包品の確認 8
1-3. 各部の名称 9

第２章　接続手順 10
2-1. 接続手順 10
2-2. 画面が表示されたら 12

第３章　画面調整/設定 13
3-1. ScreenManager 操作方法 13
3-2. ファインコントラスト機能 15
3-3. カラー調整 16
3-4. 節電機能 18
3-5. 調整ロック機能 19
3-6. ２台のコンピュータをつなぐ 20

第４章　USB（Universal Serial Bus）の活用 21
-USB 対応のシステム環境の方に-

第５章　故障かなと思ったら 23

第６章　お手入れ 29

第７章　仕様 30

第８章　用語集 33

アフターサービス 36

⚠使用上の注意

重要

- 本製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
  This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.
- ご使用前には、「使用上の注意」および本体の「警告表示」をよく読み、必ずお守りください。

【警告表示位置】

警告	CAUTION	ATTENTION	ACHTUNG
高圧注意 サービスマン以外の方は裏ぶたをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一さわると危険です。	RISK OF ELECTRIC SHOCK. DO NOT OPEN.	RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE. NE PAS OUVRIR.	GEFAHR DES ELEKTRISCHEN SCHLAGES. RÜCKWAND NICHT ENTFERNEN.

警告

万一、異常現象（煙、異音、においなど）が発生した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて販売店またはエイゾーサポートに連絡する

そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

裏ぶたを開けない、製品を改造しない

本製品内部には、高電圧や高温になる部分があり感電、やけどの原因となります。また、改造は火災、感電の原因となります。

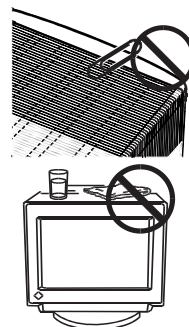
修理は販売店またはエイゾーサポートに依頼する

お客様による修理は火災や感電、故障の原因となりますので、絶対におやめください。

警告

異物を入れない、液体を置かない

本製品内部に金属、燃えやすい物や液体が入ると、火災や感電、故障の原因となります。

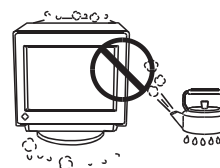
万一、本製品内部に液体をこぼしたり、異物を落とした場合には、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

丈夫で安定した場所に置く

不安定な場所に置くと、落下することがあり、けが、故障の原因となります。

万一、落とした場合は電源プラグを抜いて、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

次のような場所には置かない

火災や感電、故障の原因となります。

- 屋外。車両・船舶などへの搭載。
- 湿気やほこりの多い場所。浴室、水場など。
- 油煙や湯気が直接当たる場所や熱器具、加湿器の近く。

プラスチック袋は子供の手の届かない場所に保管する

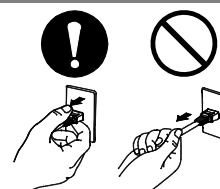
包装用のプラスチック袋をかぶったりすると窒息の原因となります。

付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

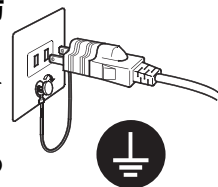
付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

電源コードを抜くときは、プラグ部分を持つ

コード部分を引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。
二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

次のような誤った電源接続をしない

誤った接続は火災、感電、故障の原因となります。

- 取扱説明書で指定された電源電圧以外への接続。
- タコ足配線。

電源コードを傷つけない

電源コードに重いものをのせる、引っ張る、束ねて結ぶなどをしないでください。電源コードが破損（芯線の露出、断線など）し、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、電源プラグやコードには触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

運搬のときは、接続コードやオプション品を外す

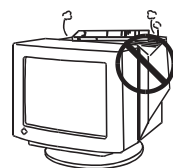
コードを引っ掛けたり、移動中にオプション品が外れたりして、けがの原因となります。

製品は重いので（特に前面側）、運搬は２人以上でおこなう

１人で運ぶと腰などを痛める原因となります。

通風孔をふさがない

- 通風孔の上や周囲にものを置かない。
- 風通しの悪い、狭いところに置かない。
- 横倒しや逆さにして使わない。

通風孔をふさぐと、内部が高温になり、火災や感電、故障の原因となります。

ディスプレイの上に乗らない、重いものを置かない

転倒、落下によりけがの原因となります。

濡れた手で電源プラグに触れない

感電の原因となります。

電源プラグの周囲にものを置かない

火災や感電防止のため、異常が起きた時すぐ電源プラグを抜けるようにしておいてください。

電源プラグ周辺は定期的に掃除する

ほこり、水、油などが付着すると火災の原因となります。

クリーニングの際は電源プラグを抜く

プラグを差したままでおこなうと、感電の原因となります。

長時間使用しない場合には、安全および省エネルギーのため、本体の電源スイッチを切った後、電源プラグも抜く

第 1 章　はじめに

このたびは当社カラーディスプレイをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

1-1. 特長

- 水平周波数：30～130kHz
  垂直周波数：50～160Hz
- sRGB 対応（p.34）
- 最大 230cd/m^2 の明るい表示画面（Movie モード選択時）
- 輝度経年変化補償回路搭載により、長期間の安定した輝度を実現（p. 17）
- ファインコントラスト機能を搭載し、用途に応じた表示画面を再現（p. 15）
- EIZO CRT ユーティリティディスク添付（詳細は CD-ROM 内 readmeja.txt などを参照）
  - マウスやキーボードを使って操作ができる画面調整ソフト「ScreenManager Pro for USB (Windows 用)」
  - アプリケーションごとにファインコントラストを登録、自動切換えができるソフト「ActiveGamma（Windows、Macintosh 用）」
  - 静止画像を明るくきれいに表示するソフト「DesktopViewer (Windows 用)」

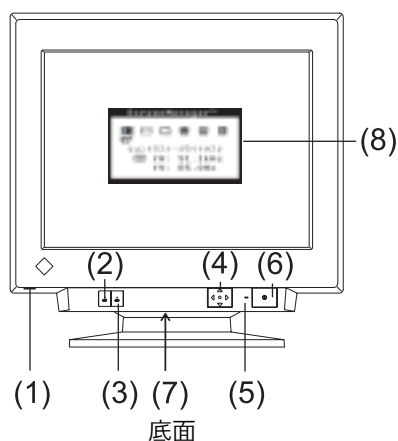
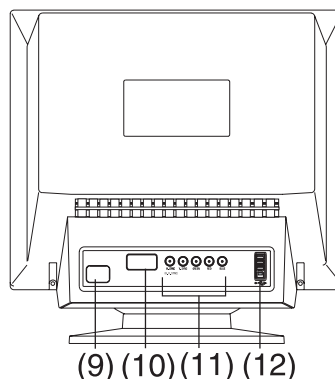
1-2. 梱包品の確認

以下のものがすべて入っているか確認してください。万一、不足しているものや破損しているものがある場合は、販売店またはエイゾーサポートにご連絡ください。

●ディスプレイ本体
●電源コード（二芯アダプタつき）
●信号ケーブル（MD-C87/MD-C100）
●セットアップガイド
●EIZO CRT ユーティリティディスク（Windows/Macintosh 共通）
●EIZO USB ケーブル（MD-C93）
●保証書

参考

- 梱包箱や梱包材は、本機の移動や輸送用に保管していただくことをおすすめします。
- EIZO USB ケーブルは、EIZO CRT ユーティリティディスク内のプログラムを使用する場合に接続します。インストール方法は、CD-ROM 内の readmeja.txt を参照してください。

1-3. 各部の名称

前面　　　　　背面

(1)　USB ポート※1　ダウンストリーム 1 ポート（開閉式）
(2)　BNC/D-SUB 切り替えボタン
(3)　AUTO/FINE MODE ボタン
　　軽く押す：ファインコントラストのモード切り替えボタン
　　2 秒以上押す：オートサイジングボタン
(4)　QuickSet™コントロールパッド（以降、操作パッドと表記します。）
(5)　電源ランプ

緑	オペレーションモード
緑点滅	節電モード 1 オフタイマー※2の予告期間
黄	節電モード 2
黄点滅	オフタイマー※2の節電モード
消灯	電源オフ

(6)　電源スイッチ
(7)　i･Sound（オプションスピーカー）用電源端子※3（底面、カバー付）
(8)　ScreenManager™
(9)　電源コネクタ
(10)　D-SUB15 ピン（ミニ）入力コネクタ
(11)　BNC 信号入力コネクタ
(12)　USB ポート
　　ダウンストリーム 3 ポート
　　アップストリーム 1 ポート※4

※1 USB ポートについては P.21を参照してください。
※2 オフタイマー機能については p.19を参照してください。
※3 別売りオプションスピーカーを取り付けるときに使用します。
※4 EIZO CRT ユーティリティディスク内のプログラムを使用する場合に接続します。P.11を参照してください

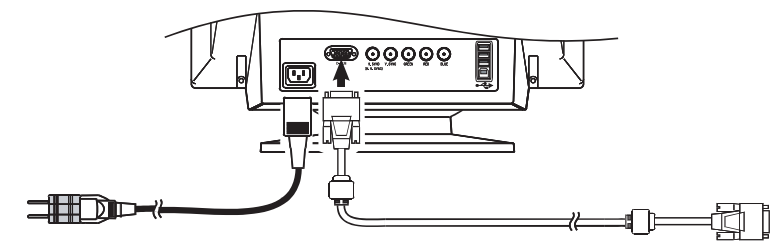
第 2 章　接続手順

2-1. 接続手順

注意点

- ディスプレイとコンピュータの電源が入っていないことを確認してください。

1. 信号ケーブルを信号入力コネクタとコンピュータに接続します。

信号ケーブル接続後、各コネクタの固定ネジを最後までしっかりと回して、確実に固定してください。

ケーブル	コネクタ	コンピュータ
信号ケーブル（付属）	ビデオ出力コネクタ/ D-SUB15 ピン（ミニ）	● DOS/V マシン ● Power Macintosh G3（Blue&White）/G4 ● PC98-NX シリーズ
信号ケーブル（付属）+ M6A*（別売り）	ビデオ出力コネクタ/ D-SUB15 ピン	● Macintosh (*Macintosh 用アダプタ)

2. 付属の電源コードを電源コネクタと電源コンセントに接続します。

⚠ 警告

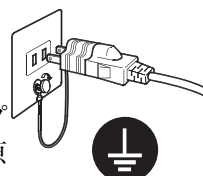
付属の電源コードを 100VAC 電源に接続して使用する

付属の電源コードは日本国内 100VAC 専用品です。

誤った接続をすると火災や感電の原因となります。

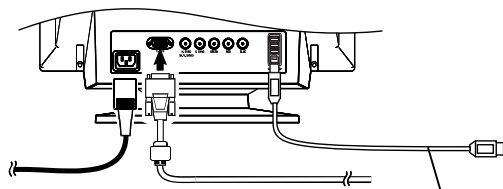
電源コンセントが二芯の場合、付属の二芯アダプタを使用し、安全（感電防止）および電磁界輻射低減のため、アースリード（緑）を必ず接地する

なお、アースリードは電源プラグをつなぐ前に接続し、電源プラグを抜いてから外してください。順序を守らないと感電の原因となります。

二芯アダプタのアースリード、および三芯プラグのアースが、コンセントの他の電極に接触しないようにしてください。

3. 電源スイッチを入れます。

ディスプレイの電源を入れてから、コンピュータの電源を入れます。
電源ランプが点灯（緑色）し、画面が表示されます。
電源スイッチを入れても画面が表示されない場合には、「第 5 章　故障かなと思ったら」（p. 23）を参照してください。
使用後は、電源を切ってください。

4. EIZO CRT ユーティリティディスク内のプログラムを使用する場合、USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとディスプレイのアップストリームを USB ケーブルで接続します。

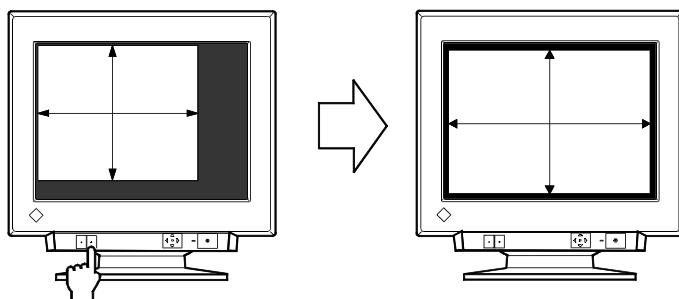
USB ケーブルを接続すると自動的に USB 機能がセットアップされます。各プログラムについては CD-ROM 内 readmeja.txt を参照してください。

参考

- ディスプレイは目の高さよりやや低い位置に置くと、見やすく、快適にご使用いただけます。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に 10 分程度の休憩を取ってください。

2-2. 画面が表示されたら

以下のような場合には必要に応じて各設定をおこなってください。

サイズ・ポジションがずれている場合

→AUTO/FINE MODE ボタンを 2 秒以上押してください。

サイズ･ポジションが自動調整されます。グラフィックスカードを替えたときや、解像度（p. 33）を切り替えたときにもご利用ください。

注意点

- AUTO/FINE MODE ボタンを軽く押すとファインコントラストのモードが切り替わります。

画面の文字や絵が大きすぎる/小さすぎる場合

→ 解像度を変更してください。

以下の表を参考に、お好みの表示モード（解像度）に設定しなおしてください。解像度の切り替え方法については､ご使用のコンピュータあるいはグラフィックスカードの取扱説明書を参照してください。

【本ディスプレイにおける主な解像度の最大リフレッシュレート（参考値)】

最高リフレッシュレート（Hz）							
640×480	800×600	1024×768	1280×1024	1600×1200	1600×1280	1920×1440	2048×1536
160	160	160	121	104	97	86	80

参考

- ディスプレイのプラグ＆プレイ機能について
  本機はプラグ＆プレイに対応していますので、お使いのコンピュータが VESA DDC に対応したシステムの場合、本機をコンピュータに接続するだけで特別な設定をすることなく、最適な解像度、リフレッシュレートの設定が可能になります。

細かい画面調整がしたい場合

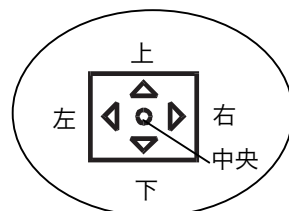
→ ScreenManager で調整してください。(p. 13参照)

第 3 章　画面調整/設定

注意点

- 画面の調整はディスプレイの電源を入れて、30 分以上経過してからおこなってください。ブラウン管が十分温まり、内部の電気部品の動作、発色が安定するまでに約 30 分かかります。

3-1. ScreenManager 操作方法

フロントパネル上の操作パッドを使用します。操作パッドは中央と上･下･左･右の５方向に押すことが可能です。

1. メニューの表示

操作パッドの中央を押し、ScreenManager メインメニューを表示します。
メニューには、調整/設定項目（アイコン）および水平周波数（fH）/垂直周波数（fV）が表示されます。

＜メインメニュー＞

2. 調整/設定

(1) 上･下･左･右を押し、調整/設定したい項目へ移動します。
(2) 中央を押すと、選択した項目の調整/設定画面またはサブメニューが表示されます。
(3) それぞれの調整/設定方法にしたがって調整/設定をおこないます。
(4) 調整/設定を終えたら、中央を押し、その調整/設定を登録してください。

3. 終了

メインメニューより＜メニューオフ＞を選択し、中央を押します。
(操作パッドを下方向に２回押すと、<メニューオフ>の位置に移動できます。)

参考

- ScreenManager は表示中に何も操作をしないと、約 45 秒後に自動的に消え終了します。そのときの画面調整/設定状態は登録されません。
- 操作パッドを直接上・下・左・右方向に押すと、コントラスト・明るさの調整ができます。調整後は操作パッドの中央を押して終了します。

画面調整/設定項目一覧

メインメニュー	サブメニュー	調整/設定内容	参照
コントラスト ・ブライトネス	—	コントラスト・明るさ	—
サイズ	—	水平/垂直サイズ	—
ポジション	—	水平/垂直位置	—
ピクチャー調整	サイドピン歪み	弓形・糸巻き歪み	—
	四辺形歪み	平行四辺形・台形歪み	—
	傾き	傾き	—
	ユニフォミティ	ユニフォミティ（p .34）色むらを補正する	p. 28
	コンバージェンス	コンバージェンス（p .33）色ずれを補正する	p. 26
	モアレ補正	モアレ（p. 34）を補正する	p. 24
	ファインコントラスト	Movie モードを設定する（1～4）	p. 15
	信号フィルタ　1	画像に見える影を補正する	p. 25
	信号フィルタ　2	2重3重に見える画像の重なりを補正する	p. 25
カラー調整	カラーモード	スタンダード/カスタム/sRGB モードを切り替える	p. 16
	・スタンダード		p. 16
	色温度	色温度（p. 33）を選択する	p. 16
	カラー補正 1	グラフィックボードに影響されない色や明るさにする	
	カラー補正 2	長期使用による明るさや色の変化を元の状態に近付ける	p. 17
	・カスタム	色（赤・緑・青）をそれぞれ調整する	p. 17
	・sRGB	sRGB モード（p. 34）を選択する	p. 17
その他	PowerManager	節電設定（コンピュータの節電機能を使う方法）	p. 18
	オフタイマー	節電設定（ディスプレイのタイマー機能を使う方法）	p. 19
	消磁	消磁（p. 33）する	p. 26
	ビープ音	ビープ音の有無を設定する	—
	メニューポジション	ScreenManager 画面位置を移動する	—
	言語選択	ScreenManager の言語を選択する	—
	入力選択	優先的に表示される信号を選択する（2 系統入力時に利用）	p. 20
	リセット	初期設定に戻す	p. 26
	インフォメーション	使用時間を確かめる	p. 17

3-2. ファインコントラスト機能

ディスプレイの明るさやコントラストを表示画像に適したモードに設定できます。前面部にある AUTO/FINE MODE ボタンを押して選択します。

表示画面に最適な表示モードを選択する

→AUTO/FINE MODE ボタンを軽く押します。

表示画面に最適な表示モード（5 種類）を選択できます。押すたびに「Text→Browser→Picture→Graphic→Movie→Text...」と切り替わります。

Text	ワープロや表計算ソフトなどの文字画面
Browser	ホームページのように文章と写真が混載された画面
Picture	写真やイラストなどの静止画（コントラストを補正する）
Graphic	アニメーションやイラストなど（コントラストを補正しない）
Movie[*1]	ゲームなどの動画 静止画でも画面が全体的に暗いような場合

参考

- モードを切り替えるときやコントラストを調整するときに一瞬明るさが変化することがあります。
- 色温度や明るさは各モードそれぞれに設定できます。
- [*1]Movie モードは、4 種類あります。＜ピクチャー調整＞の＜ファインコントラスト＞で設定 します。（下記参照）

最適な Movie モードを設定する

→ ＜ファインコントラスト＞で最適な Movie モードを選択します。

Movie モード（動画用のモード）を以下の 4 種類から選択できます。
＜ピクチャー調整＞の＜ファインコントラスト＞を使って設定します。

- 表示モード

<table>
<tr><td>モード</td><td>コントラスト強調補正[*2]</td><td>シャープネス補正</td><td>表示画像</td></tr>
<tr><td>Movie　1</td><td>オン</td><td>オン</td><td>DVD、TV フルスクリーン表示</td></tr>
<tr><td>Movie　2</td><td>オン</td><td>オフ</td><td>DVD、TV 標準表示</td></tr>
<tr><td>Movie　3</td><td>オフ</td><td>オン</td><td rowspan="2">すでにコントラストやシャープネスの補正がされている入力画像</td></tr>
<tr><td>Movie　4</td><td>オフ</td><td>オフ</td></tr>
</table>

[*2] コントラスト強調補正について

映像をきれいに表示するために、ディスプレイが入力画像を自動的に判別し、中間階調部分を補正することで、コントラストの強調補正をします。

3-3. カラー調整

＜カラー調整＞メニューの＜カラーモード＞では、＜スタンダード＞モード（色温度設定、カラー補正)、＜カスタム＞モード（赤、青、緑をそれぞれに調整する)、＜sRGB＞モードをお好みに応じて選択し、設定できます。

＜スタンダード＞モード（色温度設定、カラー補正）

色温度を選択する

→ ＜色温度＞を設定します。

4000K〜10000K まで 500K 単位でお好みの色温度に設定します。
(初期設定の 9300K を含む)

グラフィックスボードに影響されない色や明るさにする

→ ＜カラー補正 1＞を実行します。

グラフィックスボードの出力信号レベルの違いによって生じる色温度や明るさの相違をなくすことができます。コンピュータ（グラフィックスボード）を替えたり、信号の入力コネクタを変更した場合は、その都度、＜カラー補正 1＞を実行してください。

[調整手順]

(1) 「EIZO ユーティリティディスク」（付属品）内の'Pattern.html'ファイルを開いて（WWW ブラウザで開けます)、そのアプリケーションウィンドウを最大にします。
(2) ＜カラー補正 1＞を「実行」します。補正中は ScreenManager 画面がいったん消えます。（補正には 20 秒〜30 秒の時間がかかります。補正中は表示画面を変更しないでください。）カラー補正終了後、補正の結果が表示されます。

長期使用による明るさや色の変化を元の状態に近付ける

→ ＜カラー補正 2＞カラー補正を実行します。

使用時間の経過につれておこる、輝度や色合いの変化を補正し、工場出荷時の状態に近付けることができます。

[調整手順]

(1) ＜カラー補正 2＞を実行します。(補正には 1 分間程度かかります。)
(2) カラー補正終了後、元の画面に戻ります。

注意点

- ＜カラー補正 2＞は、電源投入後 60 分以上経過してから行ってください。60 分以上経過していないと、「ウォーミングアップ」の警告メッセージがでます。

参考

- 使用時間 2000 時間ごとを目処に調整を行ってください。
- 使用時間は ScreenManager＜その他＞の＜インフォメーション＞にて確認できます。

＜カスタム＞モード（赤、青、緑のそれぞれの色調を調整する）

→ ＜ゲイン(p. 33)＞、 ＜カットオフ(p. 33)＞を調整します。

＜カラーモード＞で＜カスタム＞に切り替えそれぞれの明度（ゲイン)、彩度（カットオフ）を調整し、色調をつくります。各調整項目の%表示は、調整値の目安です。

[調整手順]

(1) コントラストおよび明るさの設定を最大にします。
(2) ＜色温度＞ できるだけつくりたい色に近い色温度に設定します。
(3) ＜カットオフ＞ それぞれの色を調整し、基本となる黒色のレベルをつくります。
(4) ＜ゲイン＞ つくりたい白色のレベルにそれぞれの色を調整します。
(5) ＜セーブ＞ 調整状態を「セーブ」します。(セーブせずに電源をオフすると、調整状態は失われます。)

＜sRGB＞モードを選択する

→ ＜カラーモード＞で＜sRGB＞に切り替えます。

sRGB を選択している場合は、色および明るさ/コントラストは調整できません。また AUTO/FINE MODE ボタンによるファインコントラストのモード切り替えもできません。

3-4. 節電機能

本機には、２つの節電方法があります。用途に応じて設定してください。
＜その他＞メニューで設定します。

注意点

- 完全な節電のためには、電源を切ることをおすすめします。また、電源プラグを抜くことで確実にディスプレイ本体への電源供給は停止します。

コンピュータの節電機能(VESA DPMS(p. 34))を使用する

→ ＜PowerManager＞を「オン」にします。

[設定方法]

(1) コンピュータの節電機能を設定します。
(2) ＜PowerManager＞の「オン」を選択します。

[節電の流れ]

コンピュータからの信号に応じて以下のように変化します。

コンピュータの状態	ディスプレイの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	緑
スタンバイ	ブランクスクリーン	緑
サスペンド	節電モード 1	緑（点滅）
オフ	節電モード 2	黄

[復帰方法]

キーボードまたはマウスを操作します。

ディスプレイのタイマー機能を使用する

→ ＜オフタイマー＞を「オン」にします。

コンピュータの設定に関係なく、あらかじめ設定したディスプレイの使用時間終了後節電モードに入ります。

[設定方法]

「オン」を選択し、操作パッドを押して使用時間「1H～23H」を設定します。

[復帰方法]

操作パッドのいずれかの方向を押すか、電源スイッチを切/入します。

[オフタイマーの流れ]

タイマー	ディスプレイの状態	電源ランプ
設定時間（1H～23H）	オン	緑
設定時間終了 15 分前	予告期間※1	緑点滅
設定時間終了後	節電モード	黄点滅

※1 予告期間中に操作パッドのいずれかの方向を押すと、押した時点から 90 分終了時間を延長することができます。

3-5. 調整ロック機能

一度調整/設定した状態をむやみに変更したくないときにご利用ください。

ロックされる機能	● ScreenManager による調整/設定 ● AUTO/FINE MODE ボタンによる調整/設定
ロックされない機能	● 操作パッドによるコントラスト/明るさ設定 ● BNC/D-SUB 切り替えボタン

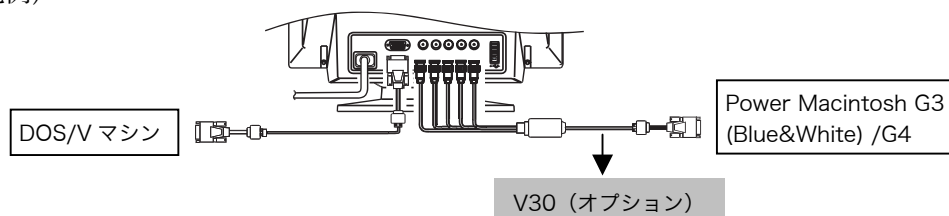
[設定方法]

AUTO/FINE MODE ボタンを押しながら電源を入れます。

[解除方法]

いったん電源を切ります。その後、AUTO/FINE MODE ボタンを押しながら再度電源を入れます。

3-6. 2台のコンピュータをつなぐ

BNC コネクタにオプションケーブルを接続し、2 台のコンピュータを切り替えて表示できます。
(接続例)

表示画面の切り替え方法

フロントパネルの BNC/D-SUB 切り替えボタンを押すたびに信号が切り替わります。

[信号の優先自動選択]

信号入力されているコネクタを自動判別し画面を表示します。また以下のような場合に設定した信号が優先的に表示されます。

- ディスプレイの電源を入れたとき
- 設定したコネクタ側の入力信号が変化したとき

[選択手順]

(1) <その他>メニューの<入力選択>を選択します。
(2)「オート」を選択し、D-SUB アイコンまたは BNC アイコンを選択します。

各調整/設定について

画面の調整/設定は、D-SUB 入力、BNC 入力共通です。ただし、以下の項目については、それぞれ独立して保存されます。

<コントラスト・ブライトネス>、<ファインコントラスト>、<色温度>、<カスタム>:赤、青、緑各色のカスタム調整、<sRGB>：sRGB モード、<信号フィルタ　1>、<信号フィルタ　2>:画像の影などの補正結果、<カラー補正 1>

第 4 章　USB（Universal Serial Bus）の活用

-USB 対応のシステム環境の方に-

本機は USB 規格に対応しているハブを搭載しています。USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続することにより、本機が USB ハブとして機能し、USB に対応している周辺機器と接続できます。

必要なシステム環境

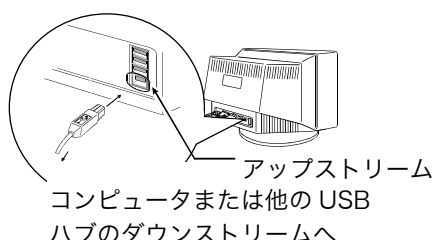
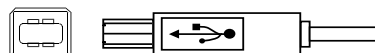
- USB ポートを搭載したコンピュータ、あるいは USB 対応のコンピュータに接続している他の USB ハブ
- Windows 98/Me/2000/XP または Mac OS 8.5.1 以降
- EIZO USB ケーブル（MD-C93）付属

注意点

- 使用するコンピュータ、OS および周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。
- ディスプレイの主電源が入っていないと、ダウンストリームに接続している周辺機器は動作しません。
- ディスプレイが節電モードの状態に入っても、USB ポート（アップストリームおよびダウンストリーム）に接続されている機器は動作します。
- 以下は Windows 98/Me/2000/XP および Mac OS の場合の手順になります。

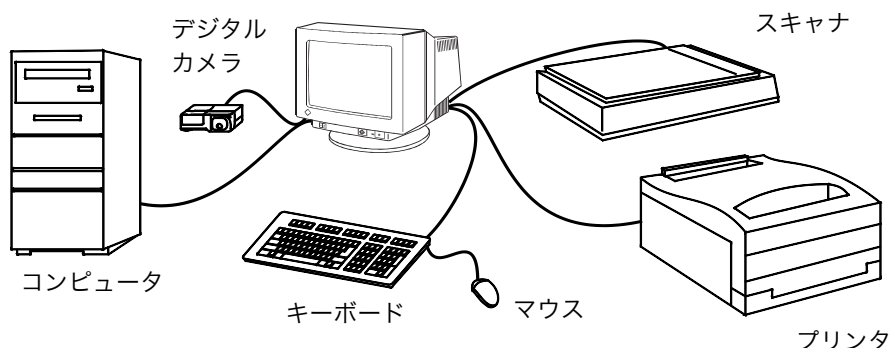
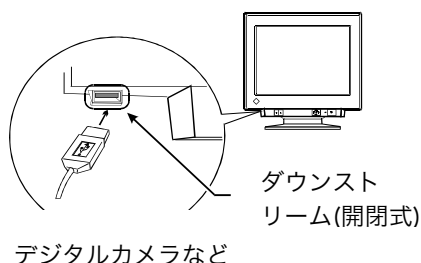
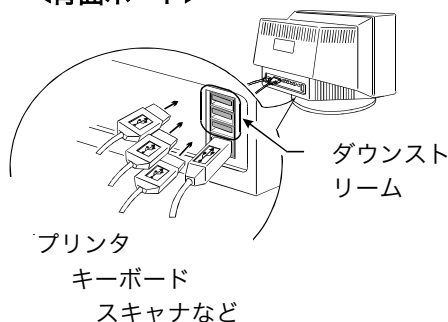
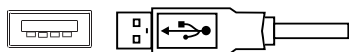
接続方法（USB 機能のセットアップ方法）

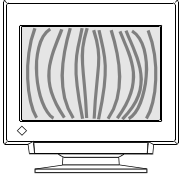
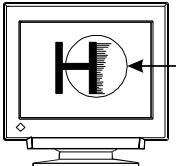
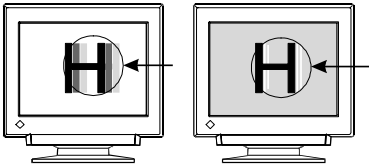
1. **はじめにコンピュータとディスプレイを信号ケーブルで接続し（p.11参照）、コンピュータを起動しておきます。**

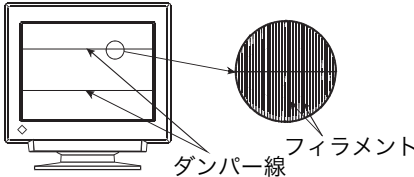
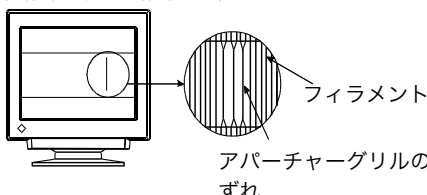
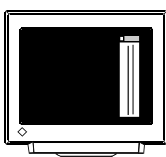
2. **USB 対応のコンピュータ（あるいは他の USB ハブ）のダウンストリームとディスプレイのアップストリームを USB ケーブルで接続します。**

付属の USB ケーブルを接続します。他方は USB 対応のコンピュータまたは他の USB ハブに接続します。

USB ケーブルの接続より自動的に USB 機能がセットアップされます。

3. セットアップが完了すると、ディスプレイが USB ハブとして機能し、さまざまな USB 対応の周辺機器をディスプレイの USB ポート（ダウンストリーム）に接続することができます。

接続例

USB 対応のキーボード、モデム、プリンタなどの周辺機器からのケーブルを接続します。

EIZO CRT ユーティリティディスク内のプログラムについて

EIZO CRT ユーティリティディスク内のプログラムについては CD-ROM 内 readmeja.txt などを参照してください。

第 5 章　故障かなと思ったら

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店またはエイゾーサポートにご相談ください。

*＜　＞表示は ScreenManager（OSD）の機能です。

症状	チェックポイント/対処方法
1.　**画面が表示されない** ● 電源ランプが点灯しない	□ 電源コードが正しく差し込まれていますか。 □ 電源スイッチを切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
● 電源ランプが点灯：緑色 ● 電源ランプが点灯：緑色（点滅／黄色） ● 電源ランプが点灯：黄色（点滅）	□ コントラストおよび明るさの設定を確認してみてください。 □ 節電モードに入っているかもしれません。マウス、キーボードを操作してみてください。（→p. 18） □ 操作パッドのいずれかの方向を押すか、電源スイッチを切/入してみてください。（→p. 19）
2.　**以下のような画面が表示される（この表示は約 30 秒間表示されます。）** ● 信号が入力されていない場合の表示です。 ScreenManager 入力信号チェック fH:　0.0kHz fV:　0.0Hz	この表示はディスプレイが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。 □ コンピュータによっては電源投入時に信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 □ コンピュータの電源は入っていますか。 □ 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 □ BNC/D-SUB 切り替えボタンを押してみてください。
● 入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。(範囲外の信号は赤色で表示されます。) 例： ScreenManager 入力信号チェック fH:150.0kHz fV:　75.0Hz	□ グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳しくはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

症状	チェックポイント/対処方法
3.　画面が揺れる／絵や文字がわずかに揺れる	□ 信号ケーブルが正しく接続されていますか。 □ 周囲にスピーカー(弊社オプション品除く) 電動モーター、他のディスプレイなど強い磁気が発生するものがありませんか。存在する場合には、ディスプレイとの距離を十分に確保してください。（使用している場所の周囲に高圧電線が通っている場合も、画面が揺れることがあります。） □ モアレ補正レベルを高く設定しているとき、画面が微妙に揺れているように見える場合があります。補正レベルを下げてみてください。 □ i･Sound（オプションスピーカー）をご使用の場合、音量を上げすぎると画面が揺れる場合があります。音量を下げてみてください。
4.　画面がちらつく（フリッカー）	□ コンピュータ（グラフィックスボード）からの信号が、以下のような場合にちらつくことがあります。 ・インターレースモードの場合 ・リフレッシュレート（垂直周波数）が低い場合（70Hz 以下） 信号の設定を確認し、リフレッシュレートの高い、ノンインターレースモードに変更してください。変更方法など、詳しくはお使いのコンピュータ、グラフィックスボードの取扱説明書を参照ください。
5.　画面にタマネギの断面図のような縞模様（モアレ）が見える	□ ＜モアレ補正＞をおこなってみてください。 □ ＜サイズ＞（画面の水平/垂直サイズ）を変更し、最も目立たなくなるような画面状態に設定してください。 □ デスクトップパターンに見られる場合は、コンピュータの設定で「背景」の「模様」や「壁紙」、「デスクトップパターン」を変更してください。その際、モアレが目立ちやすくなる市松模様は避けてください。変更方法などについては、コンピュータ、ソフトウェアの取扱説明書を参照ください。

症状	チェックポイント/対処方法
6. 画像の右側に影が見える	□ ＜信号フィルタ　1＞でモードを変更してみてください。 □ リフレッシュレートを変更してみてください。症状が解消される場合があります。変更方法については、お使いのコンピュータ、グラフィックスカードの取扱説明書を参照してください。
7. 画像が重なって見える/画像の右側に明るい線が見える	□ ＜信号フィルタ　2＞で補正してみてください。
8. 画面が暗すぎる/明るすぎる	□ ＜コントラスト・ブライトネス＞で明るさを調整してみてください。 □ ファインコントラストモードを切替えてみてください。(→p. 15) □ いったんディスプレイの電源を切り、操作パッドの下方向を押しながら電源を入れてください。入力タイミングが変化するので、症状が解消されることがあります。（なお、同じ操作を繰り返すことにより、変化させたタイミングがもとに戻り、症状ももとに戻ります。） □ ＜カラー補正 2＞で補正してみてください。（→p. 17）

症状	チェックポイント/対処方法
9. 表示色がおかしい ● 画面全体に特定の色が強く現れる ● 色むら（色が均一ではない） ● 画像の色（赤、緑、青）がずれている	□ 電源投入後、画面全体に特定の色が強く現れたり、色むらや色のずれなどが見られる場合があります。これはブラウン管が十分に温まっていないために起こるもので、30 分程で正常な画面状態に安定します。 □ ＜消磁＞を実行してみてください。 □ ＜リセット＞をおこなってみてください。カラーの調整を初期設定に戻すことで解消される場合もあります。ただしリセットをおこなうと ScreenManager での調整や設定などがすべて初期設定に戻ります。（→p. 31） □ ＜ユニフォミティ＞で補正してみてください。（→p. 28） □ ＜コンバージェンス＞を補正してみてください。ただし、この機能は画面全体を補正するもので、画面一部だけを補正することはできません。 □ ＜カラー補正 1 ＞で補正してみてください。（→p. 16） □ ＜カラー補正 2＞で補正してみてください。（→p. 17）
10. ScreenManager の＜カラー補正 1＞に失敗する	□ 入力する信号のレベルが 0.5Vp-p 以下、1.0Vp-p 以上の場合には＜カラー補正 1＞は正常に動作しません。
11. ScreenManager の＜カラー補正 2＞に失敗する	□ ＜カラー補正 2＞は、電源投入後 60 分以上経過してから行ってください。60 分以上経過していないと、「ウォーミングアップ」の警告メッセージがでます。（→p. 17）
12. ScreenManager が起動できない /AUTO/FINE MODE ボタンが効かない	□ 調整ロックが機能していないか確認してみてください。（→p. 19）
13. AUTO/FINE MODE 機能が正しく動作しない	□ この機能は Macintosh や Windows など、表示可能エリア全体に画像が表示される場合に正しく動作するものです。DOS プロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 □ 一部のグラフィックスカードで正しく動作しない場合があります。

症状	チェックポイント/対処方法
14. 画面の上下 1/3 あたりに黒い横線が見える 	□ これはすべてのアパーチャーグリルタイプブラウン管に見られる「ダンパー線」というものです。 【ダンパー線について】 アパーチャーグリルタイプブラウン管内部には多くの細かいフィラメントが垂直に並んでいます。このフィラメントは、わずかな振動でもからみつくため「ダンパー線」によって安定させています。ダンパー線は、アパーチャーグリルタイプブラウン管を使用したすべてのディスプレイに見られるものであり、不良ではありません。
15. 画面に黒い縦線が見える 	□ アパーチャーグリルタイプブラウン管は、まれに運送時の振動やショックによってフィラメントがからみつき、それが黒い縦線となって画面上に出ることがあります。 【からみつきの解消法】 1. ScreenManager＜その他＞メニュー内の＜消磁＞を実行します。 2. ディスプレイの側面を軽く手でたたきます。側面をたたく際には、ディスプレイに強い衝撃を加えないでください。故障の原因となることがあります。 上記の方法で解消されない場合は、からみついている部分を温めることによって除去します。 1. Windows や Macintosh のウィンドウを使って、からみついている部分に白い画面を表示します。その他の部分は壁紙や色設定で黒い画面にします。（左図参照） 2. ScreenManager でコントラストおよび明るさを最大に設定し、しばらくそのままにしてからみついている部分を温めます。 3. その後、ディスプレイの側面を軽く手でたたいてみます。

症状	チェックポイント/対処方法
16. USB 機能がセットアップできない	□ USB ケーブルが正しく差し込まれていますか。 □ ご使用のコンピュータおよび OS が USB に対応しているかご確認ください。（各機器の USB 対応については各メーカーにお問い合わせください。） □ Windows 98 以降をご使用の場合、コンピュータに搭載されている BIOS の USB に関する設定をご確認ください。（詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。）

＜ユニフォミティ＞の補正方法

地磁気などの影響により生じる画面周辺部の色むらを軽減できます。

[調整手順]

(1) ＜スタンダード＞

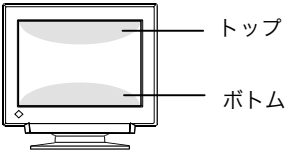
ディスプレイの画面が向いている方角（北(N)・北東(NE)・東(E)・南東(SE)・南(S)・南西(SW)・西(W)・北西(NW)と補正なし(中央)）に設定します。（設定位置は周囲の状況によっても異なります。設置方角にこだわらず、最も色や明るさが均一になるところに設定してください。）

色むらが解消された場合は手順（4）へ進みます。色むらが残る場合は手順（2）へ進みます。

(2) ＜トップ/ボトム＞

「トップ」と「ボトム」部分を補正します

(3) ＜トップコーナー＞＜ボトムコーナー＞

画面４隅を補正します。必ず「トップ」と「ボトム」部分を補正してからおこなってください。

メニュー	操作パッド	ユニフォミティ
＜トップコーナー＞	左・右	画面左上
	上・下	画面右上
＜ボトムコーナー＞	左・右	画面左下
	上・下	画面右下

(4) ＜セーブ＞

調整状態を「セーブ」します。（セーブせずに電源をオフすると、調整状態は失われます。）

注意点

● ＜リセット＞では、＜ユニフォミティ＞での補正状態を初期設定に戻すことができます。

第 6 章　お手入れ

本製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをおすすめします。

注意点

- 溶剤や薬品（シンナーやベンジン、ワックス、アルコール、その他研磨クリーナなど）は、キャビネットやブラウン管面をいためるため絶対に使用しないでください。

キャビネット

柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。（使用不可の洗剤については上記の注意を参照してください。）

ブラウン管面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナー紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

参考

- ブラウン管面のクリーニングには ScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをおすすめします。
- 年に一度は内部の掃除・点検をエイゾーサポートにご相談ください。内部にほこりがたまると、故障や火災の原因となることがあります。（内部の掃除・点検は有料となります。）

第 7 章　仕様

ブラウン管		Super ErgoCoat 55cm（21）型、平面・アパーチャーグリル CRT、 90°偏向、0.25mm アパーチャーグリルピッチ
水平走査周波数		30kHz～130kHz（自動追従）
垂直走査周波数		50Hz～160Hz（自動追従）
推奨解像度		1600 ドット×1200 ライン
表示サイズ（水平×垂直）		標準表示範囲：388mm×291mm 最大表示可能範囲：400mm×298mm※1 可視域対角：498mm
電源		100VAC±10%、50/60Hz、2.2A
消費電力		最小（通常）：160W 最大：200W（オプションスピーカー使用時） 節電モード 1：10W 以下、節電モード 2：3W 以下 電源スイッチオフ時：0W
信号入力コネクタ		D-SUB15（ミニ）コネクタ、BNC コネクタ
入力同期信号	信号形式	a)セパレート、TTL、正／負極性 b)コンポジット、TTL、正／負極性 c)シンクオングリーン、0.3Vp-p、負極性
入力映像信号	信号形式	アナログ、正極性(0.7Vp-p/75Ω)
ビデオ信号メモリー		20 種（プリセットモード 2 種）
プラグ＆プレイ機能		VESA DDC 2B
寸法／重量（本体）		494mm（幅）×486mm（高さ）×520mm（奥行き）／36.0kg
環境条件		動作温度範囲：0℃～35℃、 輸送および保存温度範囲：-20℃～60℃、 相対湿度範囲：30%～80% R.H.（非結露状態）
適合規格		TCO'99※2、VCCI クラス B、TÜV Rheinland/S マーク、 PC グリーンラベル

※1 画像を表示することができる最大範囲です。ただし、グラフィックスカードやカードの解像度によっては、表示面積を最大まで拡げられない場合があります。

※2TCO'99: 標準色(グレー)キャビネット仕様のみ適合

■主な初期設定（工場出荷設定）値

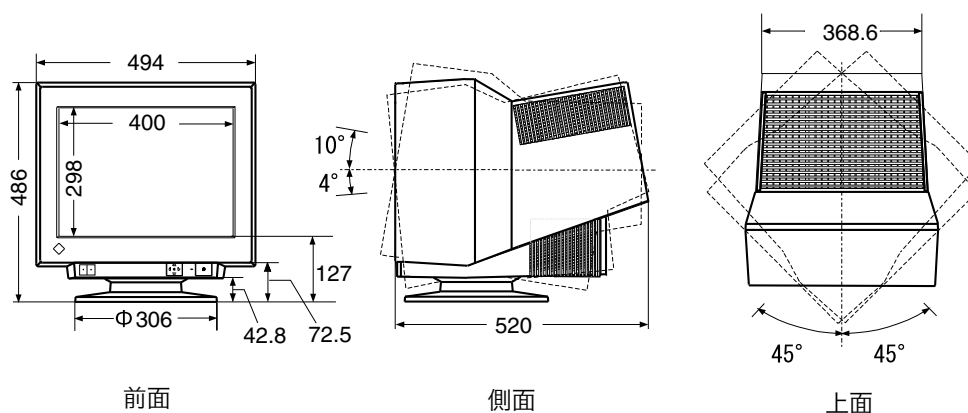
項目	値
コントラスト･ブライトネス	100%/50%
モアレ補正	0%
信号フィルタ　1	モード 1
信号フィルタ　2	100%
カラー調整	スタンダード/9300K
PowerManager	オン
オフタイマー	オフ
ビープ音	オン
言語選択	日本語
入力選択	Auto D-Sub
ファインコントラスト	Text

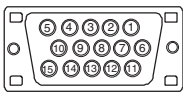
■プリセットタイミング

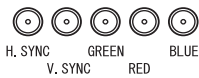
	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	インターレース	極性		ビデオ
					水平	垂直	
IBM VGA 初期設定	640×480	31.47	59.94	なし	負	負	アナログ 0.7Vp-p/75Ω
VESA 初期設定	1600×1200	106.25	85.02	なし	正	正	アナログ 0.7Vp-p/75Ω

■外観寸法

単位：mm

前面　　側面　　上面

■入力信号接続

●D-SUB15（ミニ）コネクタ

ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号	ピンNo.	入力信号
1	赤	6	赤グランド	11	（10 ピンとショート）
2	緑または緑＋コンポジットシンク	7	緑グランド	12	データ（SDA）
3	青	8	青グランド	13	水平同期
4	グランド	9	／	14	垂直同期
5	／	10	グランド	15	クロック（SCL）

●BNC コネクタ

入力信号＼端子	H.SYNC	V.SYNC	GREEN	RED	BLUE
セパレートシンク	水平同期	垂直同期	緑	赤	青
コンポジットシンク	コンポジットシンク	／	緑	赤	青
シンク・オン・グリーン	／	／	緑+コンポジットシンク	赤	青

第 8 章　用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：ケルビン（Kelvin）で表します。画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：暖色で紙色に近い白色
9300K：やや青みがかった白色　（コンピュータ用ディスプレイの標準的な設定です。）

解像度

一般的には、画面に表示するドット数を表します。
たとえば、21 型のディスプレイに 640×480 ドットで表示した時は、1 ドットの大きさは大きくなりますが、画面に表示できる情報量は低下します。同じディスプレイに 1024×768 ドットを表示させると、情報量は多くなりますが、1 ドットの大きさは小さくなります。同じサイズのフォントでも、解像度が異なると、大きさが違って見えます。

ゲイン・カットオフ

画面上に表示されるすべての色は、光の 3 原色である赤、緑、青の 3 色の組み合わせによって表現されています。たとえば、赤、緑、青の発光量をほぼ同じ割合にすると白が表示されます。理論上、3 原色の赤、緑、青がいずれも発光していない状態が黒ですが、ディスプレイにおいては実際の各色の発光量はゼロではなく、わずかに光っています。このときの各色の輝度をカットオフ（黒レベル: Black level）とよび、このカットオフを基準とした各色の輝度をゲインと呼びます。

コンバージェンス

画面上の色は、ディスプレイ内部で赤・緑・青の 3 本の電子ビームを一点に集中させることで表現します。そのビームを集中させることをいいます。

消磁

ディスプレイは地磁気の影響を受け、画面に色ずれや色むらが生じることがあります。地磁気の影響は、ディスプレイを設置する位置や方向によって異なります。この影響を取り除くことを消磁といいます。

モアレ

画面上に現れるうすい縞模様のことです。配置されている蛍光体のピッチと表示されている画像信号の干渉により発生するもので、ディスプレイの故障ではありません。特に背景の「模様」や「壁紙」、「デスクトップパターン」がライトグレーのような明るい色の場合や市松模様の場合に目立ちやすくなります。

ユニフォミティ

画面の色や明るさの均一性のことをいいます。

sRGB (Standard RGB)

周辺機器間（ディスプレイ、プリンター、デジカメ、スキャナーなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

VESA DPMS

（Video Electronics Standard Association－Display Power Management Signaling）
VESA ではコンピュータ用ディスプレイの省エネ化を実現させるためコンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPMS はコンピュータとディスプレイ間の信号の状態について定義しています。

（TCO'99：標準色（グレー）キャビネット仕様のみ適合）

このたびTCO'99認証製品をお買い求めいただきました皆様はきわめて良識のある方々であり、私どもTCO'99にとりましても誠に喜ばしいことです。皆様がお選びになった製品はプロフェッショナルユースのために開発されたものです。また、この製品をお買い求めいただいたことで、皆様は、環境への負担を軽減すること、そして環境に適合した電子製品をさらに発展させることに貢献されたことになるのです。

なぜ私どもはコンピュータ及び周辺機器に環境ラベルを貼っているのでしょう？

今、多くの国では、環境ラベルを貼ることが品物およびサービスの、環境への適合を促進するための確立された方法となっています。コンピュータとその他の電子機器に関して言えば、製品そのものと、さらにそれらを製造する工程の中で環境に有害な物質が使用されていることが主な問題です。大部分の電子機器は満足のいく方法でリサイクルすることができないため、環境にダメージを与える可能性を持った物質の殆どは遅かれ早かれ自然界に入り込んでいってしまいます。

この他にも、コンピュータにはエネルギー消費レベルといった問題があります。この問題は、労働環境（内的）と自然環境（外的）という二つの側面から重要になってきています。発電方式は全て環境に対し悪影響（例えば、酸性放出物、気候に影響を与える放出物、放射性廃棄物など）をもたらすため、エネルギーを節約することはきわめて重要なことです。オフィスで使用されている電子機器はしばしば作動状態のまま放置されるため、莫大な量のエネルギーを消費していることになります。

TCO'99 ラベルは何を意味しているのでしょう？

この製品は、パーソナルコンピュータの国際環境ラベルを提供するTCO'99の要求事項を満たしています。このラベリング計画は、TCO(スウェーデン労働者組合)、Svenska Naturskyddsföeningen(スウェーデン環境保護団体)、Statens Energimyndighet（スウェーデンエネルギー局）による共同プロジェクトです。

TCO'99 承認の要求事項は、環境、エルゴノミクス、有用性、電磁界輻射、エネルギー消費、電気的安全性、火災に対する安全性など、さまざまな領域にわたっています。

TCO'99 は、環境の項目では、重金属、臭素や塩素を含む難燃材、CFC(フロン)、塩素系溶剤などの含有および使用を制限することを課しています。ラベルが貼られた製品はリサイクルへの備えができていなくてはなりませんし、ひいては、製造者は実践していく場、すなわち所在国において環境保護にどのように対処するかの方針を持つことを余儀なくされるのです。

またエネルギーの項目では、コンピュータやディスプレイが一定時間使用されない場合、所定の時間が経過した後にそれらの消費電力を一段階またはそれ以上の複数段階を経て低いレベルまで節減することを要求しています。但し、再び使用する際、そのコンピュータはユーザーにとって不便のない程度の時間内で復帰することとなっています。

このラベルのついた製品は、例えば電磁界の低減、エルゴノミクス（身体面および視覚面）、有用性など環境に関して、厳しい要求事項を満たしていなければなりません。

この製品が満たしている環境要求事項の概略を右に示してあります。環境基準文書全文は下記宛てに要求することができます。

- TCO Development Unit
  S-114 94 Stockholm, Sweden
  Fax: +46 8 782 92 07, Email: (Internet): development@tco.se

TCO'99 の認証ラベリング製品に関する最新情報は、インターネットで下記のアドレスにアクセスして入手することができます。

- http://www.tco-info.com/

環境保護要求

難燃剤

難燃剤はプリント基板やケーブル、ワイヤ、キャビネット、コネクタに含まれています。これらは発火を防ぎ、少なくとも燃焼を抑えるために使用されます。コンピュータケースに使用されているプラスチックの30%までが、難燃物質によってできている場合もあります。難燃剤の多くは臭素系あるいは塩素系であり、これらの難燃剤は他の環境有害物質群、PCB とも関わりがあります。臭素系、塩素系難燃剤と PCB は、生体畜積*の作用により魚を食料とする鳥類や哺乳類の繁殖に与えるダメージを含む、健康状態への深刻な影響を引き起こすと考えられています。難燃剤は人体内の血液にも発見されており、研究者達は胎児の成長障害の可能性を懸念しています。

TCO'99 は 25g 以上のプラスチック部品には有機結合した塩素や臭素を含む難燃剤が含まれていないよう要求しています。難燃剤のプリント板への使用は代用となる材料がないため是認されています。

カドミウム**

カドミウムは、再充電式電池やある種のコンピュータディスプレイの蛍光体に含まれています。カドミウムは神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

TCO'99 は電池、ディスプレイの蛍光体、ディスプレイに使用されている電気・電子部品にはカドミウムが一切含まれないよう要求しています。

水銀**

水銀は、電池、継電器、スイッチに含まれていることがあります。水銀は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると中毒症状を引き起こします。

TCO'99 は電池には水銀が一切含まれないよう要求しています。また、ラベルを貼られた製品に使用されている電気・電子部品には、水銀が一切含まれないよう要求しています。

CFC（フロン）

TCO'99 は CFC ならびに HCFC を製品の製造過程や、組み立ての際に使用しないよう要求しています。CFC（フロン）はプリント基板を洗浄する際に使用されることがあります。CFC はオゾンを分解し、成層圏のオゾン層にダメージを与えます。その結果、地表に届く紫外線が増加し、例えば、皮膚がん（悪性黒色腫）になる危険性などが高まります。

鉛**

鉛は、CRT、ディスプレイのスクリーン、半田やコンデンサに含まれています。鉛は神経組織にダメージを与え、多量に摂取すると鉛中毒を引き起こします。

鉛の代替物質はまだ開発されていないため、TCO'99 は鉛の含有を認めています。

* 生体蓄積とは、生き物の体内に蓄積することを指します。
** 鉛、カドミウム、水銀は生体に蓄積する重金属です。

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、エイゾーサポートにお問い合わせください。エイゾーサポート一覧は裏表紙に記載してあります。

保証書・保証期間について

- この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げの販売店でお渡ししますので、所定事項の記入、販売店の捺印の有無、および記載内容をご確認ください。なお、保証書は再発行致しませんので、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げの日より３年間です。
- 当社では、この製品の補修用部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造終了後、最低５年間保有しています。補修用部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、エイゾーサポートにご相談ください。
- お早めにユーザー登録をされることをおすすめいたします。（登録方法については保証書を参照してください。）

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定にしたがい、エイゾーサポートにて修理をさせていただきます。お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、またはエイゾーサポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前・ご連絡先の住所・電話番号/FAX 番号
- お買い上げ年月日・販売店名
- モデル名・製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベル上および保証書に表示されている８けたの番号です。例）S/N 12345678）
- 使用環境(コンピュータ/グラフィックスボード/OS･システムのバージョン/表示解像度等)
- 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）

廃棄およびリサイクルについて

- 本製品の電子部品、プリント基板、金属部品等には重金属（鉛、クロム、水銀、アンチモン）、フッ素、ホウ素、シアン、ヒ素などが含まれています。ご使用後は、回収・リサイクルにお出しください。
- 本製品は、法人ユーザー様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償でお引取りいたします。詳細についてはエイゾークイックコールセンターまでお問い合わせください。
  ［エイゾークイックコールセンター］
  - 電話での問合せ受付
    （本社）TEL 076-274-2474
    （東京）TEL 03-5476-8220
    （大阪）TEL 06-6396-0357
    月曜日～金曜日（祝祭日及び弊社休日をのぞく）10：00～17：00
  - FAX での問合せ受付
    FAX 076-274-2416 24 時間
    但し、センターからのご回答は同センター営業時間帯（電話受付時間帯と同じ）

製品に関する技術的なご質問、アフターサービスに関するお問い合わせは
最寄りのエイゾーサポートまでお願いします。

エイゾーサポート仙台
〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-9　バイパス斎喜ビル
TEL(022)782-9770　FAX(022)782-9771

エイゾーサポート東京
〒330-0834 さいたま市天沼町1-76-1　沢田ビル
TEL(048)642-7717　FAX(048)642-5233

エイゾーサポート厚木
〒243-0021 厚木市岡田3201番地　シカシン75ビル
TEL(046)229-7003　FAX(046)229-7005

エイゾーサポート名古屋
〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5　名古屋錦第一生命ビル
TEL(052)232-0151　FAX(052)232-7705

エイゾーサポート北陸
〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地
TEL(076)274-6260　FAX(076)274-2416

エイゾーサポート大阪
〒660-0862 尼崎市開明町2-11　神鋼建設ビル
TEL(06)6414-3770　FAX(06)6414-3771

エイゾーサポート福岡
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11　福岡フコク生命ビル
TEL(092)762-2170　FAX(092)715-7781

*営業時間／月曜日～金曜日(祝祭日及び弊社休日を除く) 9:30～17:30

ご購入、販売店のご紹介、お取り扱い方法についてのお問い合わせは
最寄りの弊社営業所までお願いします。

東京営業所
〒105-0014 東京都港区芝1-5-9　住友芝ビル2号館
TEL(03)3455-7701　FAX(03)3455-7745

名古屋営業所
〒460-0003 名古屋市中区錦1-6-5　名古屋錦第一生命ビル
TEL(052)232-7701　FAX(052)232-7705

北陸営業所
〒924-8566 石川県松任市下柏野町153番地
TEL(076)277-6790　FAX(076)277-6791

大阪営業所
〒532-0003 大阪市淀川区宮原3-5-24　新大阪第一生命ビルディング
TEL(06)4807-7707　FAX(06)4807-7725

福岡営業所
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通3-6-11　福岡フコク生命ビル
TEL(092)715-7706　FAX(092)715-7781

*営業時間／月曜日～金曜日(祝祭日及び弊社休日を除く) 9:00～18:00

株式会社ナナオ

〒924-8566　石川県松任市下柏野町153番地
EIZOホームページ http://www.eizo.co.jp/

初版　2002年7月

Version A
(MA-21D5-J)